

	《反対討論 長谷川正議員》まず、条例案では葬儀式場の使用時間帯が「午後4時から翌日の午後3時まで」となっており、このままだと午後1時からの告別式はできるが午後3時からの初七日法要はできないことから、「午後5時から翌日の午後4時まで」と変更すべきである。また、時間が変更できないのであれば、葬儀式場にその後の利用予約が入っていない場合には「翌日の午後3時以降の延長使用を考えるべきである。次に、市内居住者の火葬炉使用料は、新斎場においても大人1体当たり3,000円となっているが、喪主としても1万円の出費はそれほど高額なものとは感じないことから、新斎場では1万円とすべきである。さらに、新斎場の動物炉では愛玩動物(ペット)以外の動物は焼却しないこととし、愛玩動物(ペット)以外の動物については旧家城斎場を死亡獣等の焼却処理場にするとしているが、委員会の議案審査の中で、その死亡獣等の焼却に関する質疑に対する詳しい答弁がなされておらず、質疑終結の動議の成立により十分な審議がなされていないと考えることから反対する。		
議案第91号	財産の購入について	小型動力消防ポンプ付積載車(5台)の購入 3,672万円	長谷川正、岡村 武
	《反対討論 長谷川正議員》購入する消防団車両は、5台とも二輪駆動車であるが、消防団員が安全に消火活動ができるよう四輪駆動車にすべきであると考えるところから反対する。		
議案第92号	津市斎場の指定管理者の指定について	P F I 津市斎場株式会社(平成27年1月1日から平成42年3月31日まで)	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正、岡村 武 八太正年
	《反対討論 日本共産党津市議団》議案第80号と同じ理由で反対する。		
議案第94号	平成26年度津市一般会計補正予算(第3号)	基金管理事業、臨時福祉給付金給付事業、道路維持事業、農業振興支援事業、地域インフラ維持・補修事業等の増による11億6,981万3,000円の増額補正等	長谷川正、岡村 武
議案第97号	平成26年度津市一般会計補正予算(第4号)	津市産業・スポーツセンター建設事業に係る継続費補正(総額122億2,699万2,000円→133億8,855万6,000円)及び農業用施設災害復旧事業、道路橋りょう災害復旧事業等の増、産業・スポーツセンター整備事業の減による8億5,547万1,000円の減額補正等	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正、岡村 武 八太正年
	《反対討論 日本共産党津市議団》この予算には、災害復旧費など必要な経費が盛り込まれている一方で、新産業・スポーツセンター建設のための増額予算も盛り込まれている。新産業・スポーツセンター建設予算について、当初予定していた事業費から約50億円も増額することに対して市民の理解は得られないという立場から反対する。		
認定第1号	平成25年度津市一般会計歳入歳出決算		中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正、岡村 武 川口和雄
	《反対討論 日本共産党津市議団》法的にも既になくなっていく同和対策事業、同和教育が依然として続けられている。また、強行された豊里ネオポリスの住居表示変更にかかわる費用が含まれている。さらに、新斎場整備事業では、長期にわたり利益を保障するP F I方式が取られている。教育費の文化財保護費では、1,000万円以上の土地借上げ料について実質的に無料駐車場として貸している。多くの市民が別の場所に新しく建てることを望んでいた中央公民館や福祉センター等の津センターパレスへの移転に多額の予算が費やされた。以上の理由により反対する。		
認定第2号	平成25年度津市モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算		中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 岡村 武
	《反対討論 日本共産党津市議団》競艇の本質はギャンブルであり、行政が運営することは問題である。また、赤字でも売り上げの2.5%の約7億円の交付金を納めていることやモーター、ボートの購入について特定の一族への収益の流れがある等の理由により反対する。		
認定第3号	平成25年度津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算		中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正、岡村 武
	《反対討論 日本共産党津市議団》加入者は所得300万円以下の世帯が8割を占めており、家計に占める負担割合は他の健康保険制度に比べ非常に高く、支払いが困難な状況である。負担の公平の名の下に、払えない人に社会保険制度に相反する資格証の発行等、医療にかかる制限がある。減免制度を充実し、全ての加入者が安心して医療にかかれるよう国の制度を元に戻し、一般会計からの繰り入れ等により払える保険料にすべきとの立場から反対する。		
認定第4号	平成25年度津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算		中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正、岡村 武
	《反対討論 日本共産党津市議団》年金は削られ、生活物資も高騰する中で、高齢者の生活はますます苦しくなっている。このような状況の中で介護保険料は、わずかな年金からでさえ容赦なく天引きされている。その一方で、介護が必要となった時は、入居施設が不足して入れない。また、利用しようとしても1割の利用料負担ができず、やむなく利用を止める人も増えている。所得の少ない人のために、保険料、利用料の減免制度と必要な介護が受けられる料金制度が一層必要と考える立場から反対する。		
認定第5号	平成25年度津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算		中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治 長谷川正、岡村 武